

# 生成AI、バーチャル時代、 人々の生活と社会をより豊かにする、芸術創造の土壌を守り、育てる政策の充実を

- ▶ コロナ後、成長戦略としてコンテンツ振興は強化される一方、全国の多様な芸術の回復はまだら模様。そうした中、公演・創作助成の削減、文化施設の老朽化による劇場不足、地方自治体の芸術団体助成カット、更に追い打ちをかける物価上昇とクリエイター人材不足による創造現場の活動環境の悪化
- ▶ 収益性を重視して文化的価値を棄損する可能性がある文化政策の拡がり

## ライブ(生の実演)と地域の多面的な土壌づくりを

○時空を身をもって共有するライブ(生の実演)の共感が人と地域をつくる  
ー芸術団体と劇場への総合的な政策展開へー

- ・全国の芸術団体、劇場・音楽堂の創造普及活動を支える継続的な助成充実と、連携による地域活動基盤形成支援事業の継続と予算の大幅増額
- ・都道府県の芸術団体助成など実演芸術振興策の充実促進
- ・公立文化施設の老朽化対応・再整備への大胆な予算措置
- ・国立劇場の再整備推進と伝統芸能継承の予算増額
- 子どもへの多様な芸術教育・体験機会のさらなる充実
- 実演芸術・美術の国際交流活性化と支援枠組みの構築

## パーセント・フォー・アート

- 地域空間をこころよく、過ごしやすい公共空間に設計する
- ・公共建築物の建築費の一定割合を芸術に充当する制度で、欧米・韓国等で導入済み
- ・地域コミュニティの文化形成を促進、そのための文化芸術基本法28条を努力義務から「具体的施策を講じる」へ改正を

## コンテンツ創造と魅力向上には現場の重視を

コンテンツ振興を国家戦略として打ち出し、産業面、観光面、日本発信として効果が期待されるが、創造現場への利益配分は不十分で、**担い手と作品創造の支援と同時に、著作権等での制度的な施策の充実を**

- アニメ：制作スタジオ・クリエイターへの利益配分の適正化／現場OJT方式とスキル検定導入で人材育成・確保と高度な翻訳人材の育成(AI翻訳の限界を補完)
- 映画：製作プロセスに対応した助成制度の恒常化・予算大幅拡大／地域振興・ロケ誘致補助の拡大
- 音楽：DTM・コラボ創造プラットフォームへの新枠組み支援

## 芸術家・クリエイターの権利保護の充実を

- レコード演奏・伝達権の今期国会での創設を（世界140か国で認定済み）
- 映画監督・実演家への著作権・隣接権による適正報酬の配分制度を導入
- 生成AIへの著作物学習に透明性確保・ライセンスによる解決を明確化
- デジタルプラットフォームからクリエイターへの対価還元の仕組みを構築

## 人材育成と確保のための活動環境整備を

**ライブ&コンテンツ**の創造の担い手の育成と確保、継続と転換のキャリアステージに沿った手当が豊かな創造の基盤を形成する

- 学校教育の存在しない多様な芸術活動の専門人材育成支援充実と、各分野固有の課題解決と自立的発展を促す統括団体の役割への支援予算を
- 働き方ゆえ雇用者を想定した社会保障制度からと取り残される芸術家のセカンドキャリア支援や社会保障整備のため実演芸術福祉財団への支援を
- 労災保険特別加入の芸能関係作業の要件拡大と普及が進まない加入促進への支援を

- ・日本の多様な芸術団体の自主的で自由な創造活動を支援するため、振興会の独立性を重視した専門芸術助成機関として機能強化を
- ・日本の文化芸術の抜本的な振興を果たすため、「文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約」早期批准を通し、世界に文化芸術省の創設発信を

## 日本芸術文化振興会の機能強化、社会、国で文化芸術の価値を高める力となる文化芸術省の創設と予算大幅増を